
初めての人

+悠+

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初めての人

【NZコード】

N4382D

【作者名】

+ 悠 +

【あらすじ】

本気で好きになった人。初めて「本当の恋」を教えてくれた人。でも、その恋は儚く悲しいものになる。それでも諦められなくて今まで頑張ってきた…。なのに、最後は結局…

(前書き)

今回は初めて恋をしたときの感覚を書いておきたいと思い「初めての人」を書きました。

自分はあまり恋愛に興味が無かつたのですが初めて本気になつた人がいます。

でもその恋は…

中学一年生、ようやく中学生という場に来た。

小学校の6年間好きだった人とはクラスが離れて仲良かつた羽耶南ともクラスが分かれた。

でも、智とは同じクラスになり、最初の方では一緒にいた。一年では何をやるのかまだ全然分かなくて、話したことのない人とはどうやって接したらいいのか分かなくて不安がたくさんだつた。そしてある日、

クラスの学級長と副学級長を決める日。

誰が候補に上がるのかなーと思つていたけど、まさかの出来事、自分が候補に上がつた。

女子の中でもう一人候補が出たんだけど多数決で負けて自分がなつた。

でも、男子の方がまだいるからそつちに任せればいいやと思つていた。

そして自分は副になり長は『塩道 瑛太』に決まつた。

その時ぐらいだろうか…へんなことを言われるようになつたのは正副学級長というのはそんな簡単なものではなく、

クラスで問題があれば代表として怒られたり…大変な事がたくさんあつた。

よく決め事をする時もみんなの前で決める。

そんなときからクラスの人があちょくつてきて

「瑛太が好きだつてー！」そんなことを言われる。

はつきり言ってこつちは全然興味ないし

そんなこといわれてどんな反応をとつていいのかわからん。とりあえず皆の言葉をシカトして前に行つて話し合いをした。

本当にその時は誰も好きではなくて誰にも興味がなかつた。変な噂は流れていただけど皆が「嘘」つて分かつていてくれてるからほつといた。そして月日は流れてもう1ヶ月。

9月にはこの学校の大行事の体育祭や文化祭があつた。

このクラスにもなれて楽しい。

姉に教えてもらつてあるゲームサイトへ登録していた自分は久しぶりにサイトを開いてみた。色々いじつてみて操作もなれてそのサイトにはまつた時だつた。

友達検索があつたから同じ住みの人のいないか探してみた、

そしたら「三神住み」「中2」という人を見つけて友達希望を出した。

そして色々話していくうちに同じ学校だという事がわかつた。

その人はたまにメールをしたりしていた。

そして11月中旬に1件の友達希望が来た。

それは男子からだつたけど「三神中でしょー！」という内容から

この人と同じ学校だという事がわかつてOKをした。

始めは「名前は！？」と直球に言われたけど内緒にしてみて、毎日メールで話していた。相手が先輩だという事がわかつて、何部かということもわかつて、お互に情報を教えあつていた。向こうはうちの事がわかつたみたいだけこつちはまだ分からぬ…ちょっとそれは…と思い自分も頑張つて探した。

そして1週間くらいが経つてお互いに知り合いになつた。

それでも、友達希望が来た時からのメールは止むことはなくずっと続いていた。多分その時くらいだと思う、

あの人のこと好きになつたのは…ある時メールをしている時だつた、

夜中だつたけど「直メしない！？」と言う誘いを受けたのは…

いつも学校から帰つてきてから夜中までメールをしていたから乐しかつた。で、いきなり直メの誘い自分も気になつっていたから、OKをしてメールをやり始めていた。直メを始めた当時はまだお互いに

本名を知らなかつた、だからサイトのアバターの名前で登録していった。

でも、何日か経つて、いくうちにお互いがいろんな人に聞いて本名も分かつた。その人は『根本 達紀』先輩だった。

その時からかな、本気での人のことを好きになつたのは…

5時間目に理科のときは一番楽しみだつた。

理由はあの人の掃除分担の場所が理科室だつたから。教室に戻る時に会えるのがうれしかつた。

その時にはもう自分が他の人のことを好きだと言つことは「智」や「咲」は知つていた。この2人は一番の仲良しで信用のできる人だつたから何でも話せた。

いつだつたかいきなり向こうの態度が変わりメールでも絵文字を使ってくれなくなり、メールの文章も短文になつた…それがとつてもショックだつた。

「嫌われた」と思つて立ち直りが出来なかつた、

でも、なんとか立ち直り他の人のことを諦めようとしたけど

諦められなくて…そんな日が何日も何日も続いていた。

だけど諦めることが出来ない自分は影での人のことを想つ事にした。

そして卒業式という日。

あの人といられるのも後1年になつてしまつた…。

少し残念な気持ちもあつた。今まで卒業式を迎えるのは嫌だ、少しでも前みたいな関係に戻りたいなあ思つていて頑張つていた。

そして春休みになり、皆進級して私達は2年になつた。

新しい気持ちで行きたいと思つていた。

ところが5月くらいにあの人があの人がサイトをやめると言つ出した。

それがショックでメールで理由を聞いてみた。

でもやっぱりメールでは短文で絵文字を一個も使ってくれない。
やっぱ嫌いになつたんだと思った。正直かなり落ち込んだ…

それ以来メールは1通もしていない…

そして月日は流れて11月あの人を好きになつて
もうすぐで1年とちょっと。

携帯も新規にしてアドレスも変わった。

アド変の連絡を皆に送つたところあの人には届かなかつた…
向こうはアドレスをえてウチには送つてくれなかつたんだ…
その日からメールは途切れあの人とも関わりもなくなつた。

ところがまだサイトをやつていたらしく、関わることができた。
たまに、本当にたまにだけサイトで書く日記にもコメントをくれ
た。

その時に一番最初に自分で友達希望を出した人とまた親しくなり、
毎回書く日記にコメントもくれた。

ミニメールもたまにするようになつて、

本当に仲良くなつた時、直メをするようになつた。

その時はあの人とは違ひ優しい人だつた。

2週間メールが続くのが当たり前になつてゐるくらいに…
その人の本名も知つた。「水井涼」という先輩。
ウチがあの人で傷ついた分癒してくれる人だつた。
心の支えになつて助かつっていた。

そして12月くらゐに2年の自分達は

生徒会の引継ぎについて忙しくなる。

自分も役員になつた。

本当は予定では役員にはならないはずだつたのに…
なぜ役員になつたのかは分からぬけど…

裏で色々やつてる自分がまた忙しくなる気がして気が重い…
でも、役員になれてうれしかつた。

だつて役員ならあの人には少しでも近づけるでも、

本当は事務局になりたかったって言う気持ちがある。

なぜかというとあの人は事務局の書記をやっているから。

それで事務局になれば、そうすればあの人にも今以上に

関われる気がしたし話せたかもしないから…そしてある日、

羽耶南と計画を立てた。羽耶南とはあの人のことをして呼んでいる。

羽耶南もサイトに登録をしていて協力してくれると言つてくれた。
そして羽耶南とその計画を実行する時、

その計画とは羽耶南のアバターのミニメである人の気持ちを聞く
と言つもの…自分ではその計画が上手くいくものだと思っていた。
上手くいって、前みたいに仲良くなれると思つていた。

でもそれは逆効果で向こうを怒らせてしまった。

その日の19時くらいにサイトに接続してみたら

あの人曰記を書いていた。その内容が

「まじうざいからやめるわ！今日はまじでやめるわ！」と言つもの。
それを見た時かなりのショックだった。でもその時に想つた事が、
『あのメールではすごく短文でつまらなそ娘娘だつた。

前ウチとメールをしていた時とは全然違う。

だとすればあの時から変わったんならそれまでウチに
優しくしてくれたのはウチだけのもので…』

そう考えるとうれしくも感じていた。

どんな妄想だよ、って思うかもしれないけど本気で好きな人が
いるならこの気持ちが分かると思います。

自分は本気で「」の事が好きだったのでそう思つたんだけど、思いま
す。

羽耶南には失礼かも知れなかつたけど、そんな気持ちを生んでいた。

でも、その気持ちと反対で

『もうあの人のこと諦めよう』と言つ気持ちも生んでいた。
完全に嫌われた。向こうはうちの事が嫌い。

そう思つたから諦める決意をした。

その時は嫌われたつて言つ気持ちが大きくて
あの人についてもう考えるのも嫌だつた。

またその時実感したことがある。

『本気で好きになつた人があの人に

小学校の時好きだつたあの人はただの上面だけだつた』ってこと。
6年間好きだつたつて言つのが嘘だつたかのように打ち砕かされた…

そして今感じてるこの恋が本当で…

今思えばどうしてあの人のことほんきで好きになつたんだろう?
特別力ツコいいわけでもなく…

特別でもない…成績は普通?らしい。

そんな人に本気になつたのは自分でも驚き。

でも、その想いと一緒に一つ思いついたこと。

今この気持ちを大切にもう恋はしないで
あの人で最後にしようと思います。

タク兄にはすぐ感謝します。

いつもいつも見守つてくれてありがとうございます!

小学校の時から会つて色々あつたけどタク兄にも
本気にはならなかつた。それほどあの人人が好きでした。

今の気持ちは本気で好きになつたあの人人が卒業する前にちゃんと云
えたいとおもいます。

何もないで終わらせるより伝えたいと思いますので
本気で好きになつて変わらない恋をしてる
自分がバカらしくなつてきた時があります。
それでも諦めないで頑張りました。

最後に・・・

「本当の恋」を教えてくれてありがとうございました。
これで最後になりますがとても感謝しています。

(後書き)

今回は読んでいただきありがとうございました！
どうでしたか？

幸せな人はこれを読んでどう思つんでしょうか？
自分と同じ気持ちを持っている方は同情してくれるのでしょうか？
そんなことを思いながら書きました。

今回は本当にありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4382d/>

初めての人

2010年12月12日17時42分発行